

## 2021・小学校低学年「そのときがくるくる」

□私は〇〇〇〇(にがてな食べ物)が、きらいです/ちょっとにがてです/できれば食べたくありません。

□「〇〇〇は体にいい/おいしいよ」とお母さん/お父さん/おとな/せんせい が言っても、

とってしまいます。

□もし私がなすがきらいなたくまのように、どうしても〇〇〇を食べないといけなくなったら、

とってしまいます/と考えるかもしれません。

□たくまのおじいちゃんもおばあちゃんもむりやりたくまになすを食べさせようとはしませんでした。私がもし

たくまだったら、

と考えました。/と思いました。

□でも、もし私がやさいをつくってくれた、たくまのおじいちゃんなら、

と思うかも/考えるかも/と言うかもしれません。

□たくまのおじいちゃんは、にがてなものも食べられる「そのときがくる!」と言ってはげましてくれました。

私は

だと思いました。

□私が一番うれしかった/びっくりした/ドキドキした/感動した/楽しかった 場面/セリフは、

です。

なぜなら、

だからです。

□(だれかから、だいじょうぶ、できるよ!/無理しないで、がんばれ!とはげまされた・おうえんされた体験)

ということがありました。

そのとき、

と思いました。

□この本を読むまでは、にがてなこと/できないことは、

とっていました。

いまは、

と考えるようになりました/と思えるようになりました。

□たとえにがてなことでも、おうえんされると/はげましてもらえると/できるよ!と信じてもらえると、

という気持ちになるのだと思いました。

□むりやり「やれ!/食べろ!」と言われるよりも、「

」と言われるほうがうれしい/がんばれる と思います。

□これからは、だれかが、にがてなことやできないことをがんばろうと思っているときは、

だと思えるようになりました。

そして私もにがてなことにちょうせんするときは、

と思いました。